

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名					
病院名 洛南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,227 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	52.8	61.8	64.5
感染症	-	-	-	-
計	256	52.8	61.8	64.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,158,234,549	
標準財政規模(千円)	515,091,998	
財政力指数	0.59466	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.5
	将来負担比率(%)	294.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.4
修正医業収益(千円)	1,522,916

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,597,371			
1 経常収益	2,583,159			
(1) 医業収益	1,542,262			
入院収益	1,183,573			
外来収益	333,701			
診療収入計	1,517,274			
その他医業収益	24,988			
(うち他会計負担金)	19,346			
(2) 医業外収益	1,040,897			
(うち国・都道府県補助金)	297,397			
(うち他会計補助・負担金)	734,405			
(うち長期前受金戻入)	3,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,212			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,596,149			
2 経常費用	2,581,473			
(1) 医業費用	2,521,694			
職員給与費	1,859,359	120.6	62.1	104.8
材料費	188,716	12.2	25.3	8.7
(うち薬品費)	144,385	9.4	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,148	0.5	11.4	1.3
減価償却費	86,598	5.6	9.5	13.5
経費	382,503	24.8	22.7	33.3
(うち委託料)	188,614	12.2	12.6	18.6
研究研修費	3,672			
資産減耗費	846			
(2) 医業外費用	59,779			
(うち支払利息)	1,441	0.1	1.3	2.7
(3) 特別損失	14,676			
損益				
経常損益	1,686			
純損益	1,222			
累積欠損金	4,290,053			
経常収支比率	100.1		101.9	101.4
医業収支比率	61.2		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.2		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	48.9		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	29.0		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	70.9		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,782,660
1 固定資産	2,432,344
(1) 有形固定資産	2,382,947
(2) 無形固定資産	21,660
(3) 投資その他の資産	27,737
2 流動資産	2,350,316
(1) 現金及び預金	1,759,116
(2) 未収金及び未収収益	551,658
(3) 貸倒引当金( )	188
(4) 貯蔵品	11,047
3 繰延資産	-
負債合計	965,487
1 固定負債	395,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	362,311
(2) その他の企業債	28,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	490,500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,564
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,982
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	245,432
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,676
(1) 長期前受金	214,184
(2) 長期前受金収益化累計額( )	134,508
資本合計	3,817,173
1 資本金	25,716,728
2 剰余金	-21,899,555
(1) 資本金剰余金	334,644
(2) 利益剰余金	-22,234,199
負債・資本合計	4,782,660
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	753,029	753,751
資本勘定繰入	-	-
計	753,029	753,751

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1441.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名			
病院名	与謝の海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,158,234,549	
標準財政規模(千円)	515,091,998	
財政力指数	0.59466	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.5
	将来負担比率(%)	294.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,286			
1 経常収益	19,286			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,286			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	19,286			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,286			
2 経常費用	19,286			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	19,286			
(うち支払利息)	19,286	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,944,146			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	86.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	12,854	19,286
資本勘定繰入	94,999	142,499
計	107,853	161,785

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1441.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,284 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	344	88.8	91.8	94.0
療養	-	-	-	-
結核	6	28.0	9.3	10.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	27.9	4.1	-
計	354	87.1	89.0	90.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.6	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	52,790,585	
標準財政規模(千円)	24,054,345	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	71.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.7
修正医業収益(千円)	12,325,565

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,359,077			
1 経常収益	14,102,335			
(1) 医業収益	12,533,576			
入院収益	7,533,575			
外来収益	4,272,683			
診療収入計	11,806,258			
その他医業収益	727,318			
(うち他会計負担金)	208,011			
(2) 医業外収益	1,568,759			
(うち国・都道府県補助金)	458,683			
(うち他会計補助・負担金)	554,511			
(うち長期前受金戻入)	473,455			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	256,742			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,047,249			
2 経常費用	13,760,655			
(1) 医業費用	12,881,437			
職員給与費	5,940,744	47.4	62.1	63.5
材料費	3,468,319	27.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	2,329,261	18.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,139,058	9.1	11.4	11.8
減価償却費	1,055,953	8.4	9.5	10.0
経費	2,351,597	18.8	22.7	21.7
(うち委託料)	1,027,680	8.2	12.6	12.2
研究研修費	40,158			
資産減耗費	24,666			
(2) 医業外費用	879,218			
(うち支払利息)	145,250	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	286,594			
損益				
経常損益	341,680			
純損益	311,828			
累積欠損金	348,720			
経常収支比率	102.5		101.9	101.7
医業収支比率	97.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	96.9		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,642,525
1 固定資産	16,440,829
(1) 有形固定資産	16,077,114
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	363,715
2 流動資産	8,201,696
(1) 現金及び預金	5,810,876
(2) 未収金及び未収収益	2,361,538
(3) 貸倒引当金( )	4,346
(4) 貯蔵品	32,525
3 繰延資産	-
負債合計	12,352,440
1 固定負債	8,380,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,745,721
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	634,983
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,371,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	831,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	379,593
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,066,481
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,600,124
(1) 長期前受金	5,328,047
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,727,923
資本合計	12,290,085
1 資本金	5,008,343
2 剰余金	7,281,742
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	-98,454
負債・資本合計	24,642,525
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,190,579	762,522
資本勘定繰入	504,642	487,818
計	1,695,221	1,250,340

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院 大江分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,240 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	82.0	85.5	82.6
療養	28	87.4	92.5	95.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	68	84.2	88.3	87.8
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	22.0	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	52,790,585	
標準財政規模(千円)	24,054,345	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	71.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.6
修正医業収益(千円)	607,077

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	804,344			
1 経常収益	795,513			
(1) 医業収益	607,077			
入院収益	452,156			
外来収益	137,734			
診療収入計	589,890			
その他医業収益	17,187			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	188,436			
(うち国・都道府県補助金)	16,215			
(うち他会計補助・負担金)	71,728			
(うち長期前受金戻入)	66,337			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,831			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	752,486			
2 経常費用	747,339			
(1) 医業費用	692,770			
職員給与費	471,378	77.6	62.1	78.9
材料費	36,016	5.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	26,291	4.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,725	1.6	11.4	6.0
減価償却費	66,379	10.9	9.5	11.7
経費	117,433	19.3	22.7	31.2
(うち委託料)	54,727	9.0	12.6	14.3
研究研修費	1,410			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	54,569			
(うち支払利息)	2,973	0.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	5,147			
損益				
経常損益	48,174			
純損益	51,858			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.4		101.9	100.3
医業収支比率	87.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	96.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,642,525
1 固定資産	16,440,829
(1) 有形固定資産	16,077,114
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	363,715
2 流動資産	8,201,696
(1) 現金及び預金	5,810,876
(2) 未収金及び未収収益	2,361,538
(3) 貸倒引当金( )	4,346
(4) 貯蔵品	32,525
3 繰延資産	-
負債合計	12,352,440
1 固定負債	8,380,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,745,721
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	634,983
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,371,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	831,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	379,593
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,066,481
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,600,124
(1) 長期前受金	5,328,047
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,727,923
資本合計	12,290,085
1 資本金	5,008,343
2 剰余金	7,281,742
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	-98,454
負債・資本合計	24,642,525
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	70,443	71,728
資本勘定繰入	18,475	34,526
計	88,918	106,254

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	舞鶴市				
病院名	舞鶴市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	4,671 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	100	93.3	97.7	94.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	93.3	97.7	94.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	80,336	
決算規模(千円)	44,705,082	
標準財政規模(千円)	19,563,542	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	108.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	988,912			
1 経常収益	982,121			
(1) 医業収益	707,534			
入院収益	662,049			
外来収益	32,199			
診療収入計	694,248			
その他医業収益	13,286			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	274,587			
(うち国・都道府県補助金)	28,022			
(うち他会計補助・負担金)	213,705			
(うち長期前受金戻入)	27,855			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,791			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	973,684			
2 経常費用	963,782			
(1) 医業費用	928,382			
職員給与費	647,421	91.5	62.1	67.4
材料費	57,559	8.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	21,638	3.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,645	3.6	11.4	8.8
減価償却費	79,286	11.2	9.5	10.7
経費	140,501	19.9	22.7	29.2
(うち委託料)	78,507	11.1	12.6	13.9
研究研修費	2,046			
資産減耗費	1,569			
(2) 医業外費用	35,400			
(うち支払利息)	13,419	1.9	1.3	1.5
(3) 特別損失	9,902			
損益				
経常損益	18,339			
純損益	15,228			
累積欠損金	213,517			
経常収支比率	101.9		101.9	100.3
医業収支比率	76.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	79.7		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,583,753
1 固定資産	1,848,069
(1) 有形固定資産	1,808,720
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	39,349
2 流動資産	735,684
(1) 現金及び預金	557,648
(2) 未収金及び未収収益	178,451
(3) 貸倒引当金( )	1,949
(4) 貯蔵品	1,534
3 繰延資産	-
負債合計	1,542,840
1 固定負債	1,258,694
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,114,915
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	143,779
(7) リース債務	-
2 流動負債	149,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	70,378
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,132
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	54,333
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,620
(1) 長期前受金	313,631
(2) 長期前受金収益化累計額( )	179,011
資本合計	1,040,913
1 資本金	876,467
2 剰余金	164,446
(1) 資本金剰余金	377,963
(2) 利益剰余金	-213,517
負債・資本合計	2,583,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.2
修正医業収益(千円)	707,534

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	41,805	213,705
資本勘定繰入	33,977	33,977
計	75,782	247,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	綾部市				
病院名	綾部市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,662 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	206	70.8	86.7	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	70.8	86.7	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	17.6	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	31,846	
決算規模(千円)	20,525,429	
標準財政規模(千円)	9,837,425	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	113.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収益(千円)	5,864,574

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,499,648			
1 経常収益	6,499,404			
(1) 医業収益	5,905,512			
入院収益	2,798,192			
外来収益	2,904,528			
診療収入計	5,702,720			
その他医業収益	202,792			
(うち他会計負担金)	40,938			
(2) 医業外収益	593,892			
(うち国・都道府県補助金)	393,855			
(うち他会計補助・負担金)	84,464			
(うち長期前受金戻入)	46,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	244			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,523,855			
2 経常費用	6,474,880			
(1) 医業費用	6,358,199			
職員給与費	17,683	0.3	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	346,811	5.9	9.5	10.2
経費	5,979,180	101.2	22.7	28.2
(うち委託料)	1,463	-	12.6	13.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	14,525	-	-	-
(2) 医業外費用	116,681			
(うち支払利息)	32,216	0.5	1.3	1.6
(3) 特別損失	48,975			
損益				
経常損益	24,524			
純損益	-24,207			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		101.9	99.9
医業収支比率	92.9		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	1.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	2.1		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	1.9		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	98.4		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,956,637
1 固定資産	6,394,269
(1) 有形固定資産	5,767,370
(2) 無形固定資産	2,328
(3) 投資その他の資産	624,571
2 流動資産	2,562,368
(1) 現金及び預金	1,372,131
(2) 未収金及び未収収益	1,126,656
(3) 貸倒引当金( )	27,119
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,385,645
1 固定負債	1,710,986
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,710,986
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	799,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	132,016
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,400
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	659,667
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	875,576
(1) 長期前受金	1,621,695
(2) 長期前受金収益化累計額( )	746,119
資本合計	5,570,992
1 資本金	3,070,413
2 剰余金	2,500,579
(1) 資本金剰余金	149,382
(2) 利益剰余金	2,351,197
負債・資本合計	8,956,637
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	435,775	125,402
資本勘定繰入	85,478	24,598
計	521,253	150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			京都府
市町村・組合名	亀岡市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,947 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	14	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	71.1	80.0	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	71.1	80.0	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.7	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	86,174	
決算規模(千円)	46,528,736	
標準財政規模(千円)	19,288,469	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	89.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収益(千円)	2,348,453

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,019,236			
1 経常収益	2,970,635			
(1) 医業収益	2,472,578			
入院収益	1,648,098			
外来収益	654,215			
診療収入計	2,302,313			
その他医業収益	170,265			
(うち他会計負担金)	124,125			
(2) 医業外収益	498,057			
(うち国・都道府県補助金)	152,432			
(うち他会計補助・負担金)	251,432			
(うち長期前受金戻入)	10,282			
(うち資本費繰入収益)	74,443			
(3) 特別利益	48,601			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,944,911			
2 経常費用	2,878,362			
(1) 医業費用	2,687,718			
職員給与費	1,439,596	58.2	62.1	67.4
材料費	701,400	28.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	181,971	7.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	519,429	21.0	11.4	8.8
減価償却費	83,602	3.4	9.5	10.7
経費	444,477	18.0	22.7	29.2
(うち委託料)	290,138	11.7	12.6	13.9
研究研修費	2,146			
資産減耗費	16,497			
(2) 医業外費用	190,644			
(うち支払利息)	40,878	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	66,549			
損益				
経常損益	92,273			
純損益	74,325			
累積欠損金	620,935			
経常収支比率	103.2		101.9	100.3
医業収支比率	92.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	90.2		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,609,897
1 固定資産	2,726,471
(1) 有形固定資産	2,726,471
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	883,426
(1) 現金及び預金	435,249
(2) 未収金及び未収収益	419,573
(3) 貸倒引当金( )	542
(4) 貯蔵品	29,123
3 繰延資産	-
負債合計	3,874,839
1 固定負債	2,764,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,596,989
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	167,072
(7) リース債務	-
2 流動負債	901,512
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	194,819
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,345
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	620,748
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,266
(1) 長期前受金	284,007
(2) 長期前受金収益化累計額( )	74,741
資本合計	-264,942
1 資本金	355,993
2 剰余金	-620,935
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-620,935
負債・資本合計	3,609,897
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	264,942
資本不足額(繰延収益控除後)( )	55,676
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	375,557	375,557
資本勘定繰入	-	-
計	375,557	375,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹後市				
病院名	京丹後市立弥栄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,714 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	150	66.0	64.1	68.0
療養	49	82.9	83.7	86.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	70.2	68.9	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	17.8	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	50,860	
決算規模(千円)	41,601,337	
標準財政規模(千円)	20,382,297	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	129.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.8
修正医業収益(千円)	3,520,393

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,309,555			
1 経常収益	4,219,784			
(1) 医業収益	3,735,090			
入院収益	1,739,315			
外来収益	1,612,526			
診療収入計	3,351,841			
その他医業収益	383,249			
(うち他会計負担金)	214,697			
(2) 医業外収益	484,694			
(うち国・都道府県補助金)	62,752			
(うち他会計補助・負担金)	272,987			
(うち長期前受金戻入)	125,858			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	89,771			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,536,043			
2 経常費用	4,469,440			
(1) 医業費用	4,252,343			
職員給与費	1,822,010	48.8	62.1	67.4
材料費	1,061,784	28.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	741,288	19.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	284,336	7.6	11.4	8.8
減価償却費	433,222	11.6	9.5	10.7
経費	927,271	24.8	22.7	29.2
(うち委託料)	283,458	7.6	12.6	13.9
研究研修費	6,406			
資産減耗費	1,650			
(2) 医業外費用	217,097			
(うち支払利息)	36,452	1.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	66,603			
損益				
経常損益	-249,656			
純損益	-226,488			
累積欠損金	1,854,033			
経常収支比率	94.4		101.9	100.3
医業収支比率	87.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,517,867
1 固定資産	8,205,934
(1) 有形固定資産	7,772,282
(2) 無形固定資産	1,788
(3) 投資その他の資産	431,864
2 流動資産	1,311,933
(1) 現金及び預金	317,951
(2) 未収金及び未収収益	1,010,752
(3) 貸倒引当金( )	39,863
(4) 貯蔵品	23,027
3 繰延資産	-
負債合計	9,429,431
1 固定負債	6,610,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,465,130
(2) その他の企業債	130,943
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	14,639
2 流動負債	2,185,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	517,837
(2) その他の企業債	23,016
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	232,399
(6) リース債務	13,586
(7) 一時借入金	1,050,000
(8) 未払金及び未払費用	334,008
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	632,977
(1) 長期前受金	4,466,502
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,833,525
資本合計	88,436
1 資本金	1,123,923
2 剰余金	-1,035,487
(1) 資本金剰余金	2,361,877
(2) 利益剰余金	-3,397,364
負債・資本合計	9,517,867
不良債務	391,972
実質資金不足額	391,972
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	560,126	487,684
資本勘定繰入	108,952	153,397
計	669,078	641,081

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	391,972	6.5
令和元年度	287,092	4.6
平成30年度	138,641	2.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	56.0
健全化法上の資金不足額(千円)	522,915
健全化法上の資金不足比率(%)	8.6
地財法上の資金不足額(千円)	522,915
地財法上の資金不足比率(%)	8.6

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹後市				
病院名	京丹後市立久美浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	9,602 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	110	74.0	87.5	90.3
療養	60	76.2	85.5	87.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	74.7	86.8	89.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	12.9	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	50,860	
決算規模(千円)	41,601,337	
標準財政規模(千円)	20,382,297	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	129.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収益(千円)	2,146,583

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,866,441			
1 経常収益	2,735,310			
(1) 医業収益	2,327,688			
入院収益	1,337,465			
外来収益	741,745			
診療収入計	2,079,210			
その他医業収益	248,478			
(うち他会計負担金)	181,105			
(2) 医業外収益	407,622			
(うち国・都道府県補助金)	72,846			
(うち他会計補助・負担金)	213,573			
(うち長期前受金戻入)	84,113			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	131,131			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,845,978			
2 経常費用	2,777,578			
(1) 医業費用	2,671,088			
職員給与費	1,601,153	68.8	62.1	67.4
材料費	318,475	13.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	114,250	4.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	161,222	6.9	11.4	8.8
減価償却費	133,953	5.8	9.5	10.7
経費	611,421	26.3	22.7	29.2
(うち委託料)	244,049	10.5	12.6	13.9
研究研修費	5,590			
資産減耗費	496			
(2) 医業外費用	106,490			
(うち支払利息)	25,412	1.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	68,400			
損益				
経常損益	-42,268			
純損益	20,463			
累積欠損金	1,543,331			
経常収支比率	98.5		101.9	100.3
医業収支比率	87.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	84.3		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,517,867
1 固定資産	8,205,934
(1) 有形固定資産	7,772,282
(2) 無形固定資産	1,788
(3) 投資その他の資産	431,864
2 流動資産	1,311,933
(1) 現金及び預金	317,951
(2) 未収金及び未収収益	1,010,752
(3) 貸倒引当金( )	39,863
(4) 貯蔵品	23,027
3 繰延資産	-
負債合計	9,429,431
1 固定負債	6,610,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,465,130
(2) その他の企業債	130,943
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	14,639
2 流動負債	2,185,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	517,837
(2) その他の企業債	23,016
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	232,399
(6) リース債務	13,586
(7) 一時借入金	1,050,000
(8) 未払金及び未払費用	334,008
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	632,977
(1) 長期前受金	4,466,502
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,833,525
資本合計	88,436
1 資本金	1,123,923
2 剰余金	-1,035,487
(1) 資本金剰余金	2,361,877
(2) 利益剰余金	-3,397,364
負債・資本合計	9,517,867
不良債務	391,972
実質資金不足額	391,972
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	423,186	394,678
資本勘定繰入	117,597	179,117
計	540,783	573,795

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	391,972	6.5
令和元年度	287,092	4.6
平成30年度	138,641	2.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	56.0
健全化法上の資金不足額(千円)	522,915
健全化法上の資金不足比率(%)	8.6
地財法上の資金不足額(千円)	522,915
地財法上の資金不足比率(%)	8.6

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	精華町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	2,910 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	10	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	89.2	92.5	91.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	89.2	92.5	91.9
平均在院日数(一般病床のみ)		50.1	39.3	30.4

設立団体の状況		
人口(人)	36,198	
決算規模(千円)	17,475,952	
標準財政規模(千円)	8,715,960	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	82.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	30,198			
1 経常収益	30,198			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	30,198			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	12,113			
(うち長期前受金戻入)	17,340			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	43,352			
2 経常費用	43,352			
(1) 医業費用	43,351			
職員給与費	8,514	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	30,482	-	9.5	11.7
経費	4,355	-	22.7	31.2
(うち委託料)	3,388	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1			
(うち支払利息)	1	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-13,154			
純損益	-13,154			
累積欠損金	-			
経常収支比率	69.7		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	40.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	40.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	41.7		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	569,395
1 固定資産	558,395
(1) 有形固定資産	557,911
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	11,000
(1) 現金及び預金	10,803
(2) 未収金及び未収収益	197
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	310,800
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,003
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	806
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	197
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	309,797
(1) 長期前受金	785,407
(2) 長期前受金収益化累計額( )	475,610
資本合計	258,595
1 資本金	77,450
2 剰余金	181,145
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	181,145
負債・資本合計	569,395
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	275	12,113
資本勘定繰入	-	-
計	275	12,113

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹波町				
病院名	国保京丹波町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,436 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	47	55.4	56.6	45.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	55.4	56.6	45.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.8	20.6

設立団体の状況		
人口(人)	12,907	
決算規模(千円)	13,965,990	
標準財政規模(千円)	6,887,248	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.7
	将来負担比率(%)	109.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	931,013			
1 経常収益	931,013			
(1) 医業収益	619,615			
入院収益	257,184			
外来収益	272,759			
診療収入計	529,943			
その他医業収益	89,672			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	311,398			
(うち国・都道府県補助金)	30,636			
(うち他会計補助・負担金)	253,157			
(うち長期前受金戻入)	10,433			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	949,722			
2 経常費用	946,226			
(1) 医業費用	909,374			
職員給与費	568,044	91.7	62.1	89.0
材料費	57,733	9.3	25.3	14.0
(うち薬品費)	33,204	5.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,924	2.9	11.4	5.4
減価償却費	79,077	12.8	9.5	13.0
経費	204,001	32.9	22.7	47.1
(うち委託料)	130,616	21.1	12.6	22.5
研究研修費	356			
資産減耗費	163			
(2) 医業外費用	36,852			
(うち支払利息)	6,992	1.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	3,496			
損益				
経常損益	-15,213			
純損益	-18,709			
累積欠損金	376,156			
経常収支比率	98.4		101.9	98.5
医業収支比率	68.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	30.9		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	46.4		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	30.9		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	68.0		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,867,065
1 固定資産	1,450,605
(1) 有形固定資産	1,415,257
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	35,348
2 流動資産	416,460
(1) 現金及び預金	267,537
(2) 未収金及び未収収益	145,739
(3) 貸倒引当金( )	2,607
(4) 貯蔵品	5,673
3 繰延資産	-
負債合計	713,896
1 固定負債	391,149
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	391,149
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	116,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,232
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,282
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	206,320
(1) 長期前受金	415,283
(2) 長期前受金収益化累計額( )	208,963
資本合計	1,153,169
1 資本金	1,491,119
2 剰余金	-337,950
(1) 資本金剰余金	32,516
(2) 利益剰余金	-370,466
負債・資本合計	1,867,065
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.3
修正医業収益(千円)	585,018

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	285,415	287,754
資本勘定繰入	35,146	35,146
計	320,561	322,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合				
病院名	京都中部総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,447 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	450	69.6	73.0	71.7
療養	-	-	-	-
結核	10	3.6	6.7	14.9
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	464	67.5	71.0	69.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	15.6	14.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.4
修正医業収益(千円)	9,329,746

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,203,520			
1 経常収益	11,033,349			
(1) 医業収益	9,479,746			
入院収益	6,111,500			
外来収益	2,950,892			
診療収入計	9,062,392			
その他医業収益	417,354			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	1,553,603			
(うち国・都道府県補助金)	800,135			
(うち他会計補助・負担金)	230,435			
(うち長期前受金戻入)	43,890			
(うち資本費繰入収益)	320,540			
(3) 特別利益	170,171			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,176,521			
2 経常費用	10,952,560			
(1) 医業費用	10,209,621			
職員給与費	5,090,939	53.7	62.1	59.8
材料費	2,243,662	23.7	25.3	27.7
(うち薬品費)	929,559	9.8	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,314,103	13.9	11.4	12.4
減価償却費	623,445	6.6	9.5	8.2
経費	2,229,410	23.5	22.7	19.2
(うち委託料)	1,219,080	12.9	12.6	10.2
研究研修費	20,559			
資産減耗費	1,606			
(2) 医業外費用	742,939			
(うち支払利息)	50,774	0.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	223,961			
損益				
経常損益	80,789			
純損益	26,999			
累積欠損金	455,027			
経常収支比率	100.7		101.9	103.7
医業収支比率	92.9		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	3.4		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	4.0		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	3.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	97.3		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,624,587
1 固定資産	10,703,924
(1) 有形固定資産	8,834,236
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,869,688
2 流動資産	4,920,663
(1) 現金及び預金	2,492,972
(2) 未収金及び未収収益	2,415,213
(3) 貸倒引当金( )	21,481
(4) 貯蔵品	30,674
3 繰延資産	-
負債合計	6,806,280
1 固定負債	3,600,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,600,560
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,997,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	492,768
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	561,536
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	868,918
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,208,612
(1) 長期前受金	2,199,037
(2) 長期前受金収益化累計額( )	990,425
資本合計	8,818,307
1 資本金	7,738,988
2 剰余金	1,079,319
(1) 資本金剰余金	1,011,346
(2) 利益剰余金	67,973
負債・資本合計	15,624,587
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	663,538	380,435
資本勘定繰入	320,540	320,540
計	984,078	700,975

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合				
病院名	京都山城総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,992 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	311	67.2	74.7	73.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	37.6	0.6	-
計	321	66.3	72.4	70.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.6	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.2
修正医業収益(千円)	6,825,243

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,937,783			
1 経常収益	7,794,825			
(1) 医業収益	6,881,453			
入院収益	4,222,071			
外来収益	2,358,414			
診療収入計	6,580,485			
その他医業収益	300,968			
(うち他会計負担金)	56,210			
(2) 医業外収益	913,372			
(うち国・都道府県補助金)	353,167			
(うち他会計補助・負担金)	301,106			
(うち長期前受金戻入)	119,359			
(うち資本費繰入収益)	87,407			
(3) 特別利益	142,958			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,070,006			
2 経常費用	7,877,089			
(1) 医業費用	7,484,204			
職員給与費	3,844,798	55.9	62.1	63.5
材料費	1,786,148	26.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	924,986	13.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	809,163	11.8	11.4	11.8
減価償却費	442,205	6.4	9.5	10.0
経費	1,389,070	20.2	22.7	21.7
(うち委託料)	648,328	9.4	12.6	12.2
研究研修費	8,248			
資産減耗費	13,735			
(2) 医業外費用	392,885			
(うち支払利息)	79,363	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	192,917			
損益				
経常損益	-82,264			
純損益	-132,223			
累積欠損金	712,163			
経常収支比率	99.0		101.9	101.7
医業収支比率	91.9		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	4.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	94.4		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,837,894
1 固定資産	7,152,507
(1) 有形固定資産	6,740,776
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	411,103
2 流動資産	2,685,387
(1) 現金及び預金	1,301,347
(2) 未収金及び未収収益	1,283,203
(3) 貸倒引当金( )	1,037
(4) 貯蔵品	101,874
3 繰延資産	-
負債合計	6,287,094
1 固定負債	3,521,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,521,286
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,507,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	625,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	247,405
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	606,753
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,257,967
(1) 長期前受金	2,570,917
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,312,950
資本合計	3,550,800
1 資本金	4,262,963
2 剰余金	-712,163
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-712,163
負債・資本合計	9,837,894
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	595,796	357,316
資本勘定繰入	353,580	244,704
計	949,376	602,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。